

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	教育学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部)

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教育学部における専門教育の問題点を抽出し、完成年度以降の改善に資する。	→「教育課程を常に検討する委員会の有無と検討状況」「実習科目を常に検討する委員会の有無と検討状況」「教育課程および実習科目の運営を担当する教職員の連絡調整に関する会合の有無と検討状況」「学生へのアンケート調査」	B
2. 導入教育として設置した基礎演習の教育成果の検証を行い、充実させる。	→「基礎演習担当者による情報交換の場の有無とその開催頻度および検討状況」「学生へのアンケート調査」	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

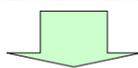
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.2.1	(方針) 教育学部における専門教育の問題点を抽出し、完成年度以降の改善に資する。 (現状説明) 教育学部の教育課程のうち、専門教育に関する教科目の大部分は、免許・資格取得に係る教科目であることから、学部全体の教育課程を検討するカリキュラム委員会のみでなく、免許・資格にかかわる教科目と教育課程の課題を検討する委員会を設置し、専門教育の中味やカリキュラム上の課題を抽出し、完成年度以降の改善に向けて検討を重ねている。
☆ 小項目6.2.2	(現状説明) 1年生春学期および秋学期に開講される基礎演習について、各学期に1度程度であるが、担当者間の情報交換を行うための会議や研究会を実施している。また、学生による授業評価を実施し、各教員が課題点の確認と改善策の検討を行うことができている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	幼稚園教員・保育士養成課程担当者会および小学校教員養成課程担当者会を設置し、1～2ヶ月に一度のペースで会議を開いて、課題の抽出と改善策の検討をおこなっている。
★小項目6.2.2	FDの一環として、教育学部教員がほぼ全員参加して、基礎演習の授業内容と指導法に関する情報交換会を開催した。
その他	



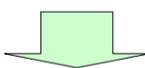
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	幼稚園教員・保育士養成課程担当者会と小学校教員養成担当者会の構成メンバーが、多数であると共に、両方の会議メンバーとして重なっている者もあり、全員参加でコンスタントに会議を開くことが困難であるが、会議の事前・事後の情報交換を充分に行って、継続的に会議を開き、現行の専門教育の課題を抽出、整理し、完成年度の教育課程に活かす。
★小項目6.2.2	授業担当者のみでなく、学部全体でも導入教育としての基礎演習の教育課程における位置づけや授業内容について検討するために、継続的に情報交換の場を確保する。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	学部全体での専門教育の再検討と完成年度に向けた改善策の整理
★小項目6.2.2	継続的な情報交換の場の設定と教育評価の検証
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	学部教員が専門教育の課題を共有し、その改善に向けて主体的にかかわることができるよう、学部内の各種委員会で別個に抽出された専門教育の課題を学部長室会で整理し、完成年度後のカリキュラムに活かす方策を検討する体制を作る。
★小項目6.2.2	基礎演習担当者会等の授業に関する情報交換の場を1～2ヶ月に1度程度開催して、授業担当者間で授業内容の相互評価を行うと共に、学期末に学生による授業評価等を参考にして、担当者会で教育成果の検証を行う。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○きめ細かな対応がなされていると判断され、評価できます。

【学内委員】

○(方針)は不要です。現状説明に含めてください。

○各小項目、目標それぞれについて適切に評価されおり、順調に進展しています。また、次年度に向けた方策についても具体的かつ、適切に記述されています。

○学年進行に応じた取組を期待します。さらにそれらが教育学部再編の礎となることも期待します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	6.2.1「現状説明」の(方針)部分を削除し、下記のように修正。 (現状説明)教育学部の教育課程のうち、専門教育に関する教科目の大部分は、免許・資格取得に係る教科目であることから、学部全体の教育課程を検討するカリキュラム委員会のみでなく、免許・資格にかかわる教科目と教育課程の課題を検討する委員会を設置し、専門教育の中味やカリキュラム上の課題を抽出し、完成年度以降の改善に向けて検討を重ねている。
---	---

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>
